

第37回「佐藤栄作賞」論文募集要項
財団法人 佐藤栄作記念国連大学協賛財団
令和4年11月

故 佐藤栄作元総理大臣は、国際連合の下に設立された国連大学の発展に協力する等世界の平和と福祉の向上に資するため、受賞されたノーベル平和賞賞金を基にして、財団法人 佐藤栄作記念国連大学協賛財団を設立されました。本財団では、その事業の一環として第37回「佐藤栄作賞」論文を下記により募集いたします。

記

1. 論文のテーマ

「WEP（世界食糧計画）のピーズリー事務局長がテレビ局のインタビューで「今年(2022)は紛争や気候変動、COVID-19の影響などによる食料価格の高騰が貧困層を直撃したが、来年は更に燃料や肥料のコストアップから食品が生産できず、またこれらにより食料輸出国が輸出を止めることも予想され、食料が手に入らない問題が発生するだろう。」と述べている。食糧危機を中心において、貧困飢餓や不平等を終わらせる方策を考慮せよ。」

[Theme]

Mr. Beasley, Executive Director, the UN World Food Programme said in TV interview, "This year, 2022, hit the poor due to soaring of food prices caused by dispute, climate changes and COVID-19. It is most likely that food cannot be processed from raise of fuel and fertilizers and food export companies may stop exporting, that lack of food problem may arise.

What are your thoughts on food crisis and measures to end the inequality of poverty and famine.

2. 応募資格

国連大学に関心を有する者であれば国籍を問わず誰でも応募できます。

3. 応募規定

応募規定に反した原稿は失格と致します

応募論文は、日本語又は英語で書かれたものに限る。

日本語による論文の部

応募論文は、A4版用紙にて、要約3頁以内、本文原稿30頁以内とする。

英語による論文の部

応募論文は、A4版用紙にて、要約2頁以内、本文原稿20頁以内とする。

応募論文の表紙に次の事項を洩れなく明記する：

- ① 住所（電話番号/FAX番号）
フリガナ
- ② 氏名
- ③ 年令
- ④ 性別
- ⑤ 外国の方は国籍を記入して下さい。
- ⑥ 職業（学校名、所属等）
- ⑦ 論文のテーマ
- ⑧ 何を見て応募したかを記入する。

- ・応募論文は未発表のものに限る。
- ・他の著書、論文を引用した場合は出典を明記する。

4. 論文送付方法

電子メール添付ファイルにて論文を送付する。
アドレスは、essay@satoeisaku.com

入選論文の著作権は、財団法人佐藤栄作記念国連大学協賛財団に帰属する。

5. 締切

令和5年1月31日 24:00（日本時間）

※郵送時、当日消印のあるもの迄有効

6. お問い合わせ先

〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70
国際連合大学ライブラリー気付
一般財団法人 佐藤栄作記念国連大学協賛財団
電子メール office@satoeisaku.com

7. 発表及び表彰

- ・日本経済新聞、朝日新聞に受賞者名を発表。
掲載日等は財団ホームページ上でお知らせします。

受賞者には賞状及び副賞を贈呈します。

最優秀賞 1編 賞状及び副賞（賞金50万円）

優秀賞 2編 賞状及び副賞（賞金20万円）

佳作 数編 賞状及び副賞（賞金5万円）

- ・授賞式は令和5年11月に国際連合大学にて行う予定です。

8. 選考委員

小島章伸（株式会社QUICK参与）
小島明（日本経済研究センター参与）
白鳥正喜（元世界銀行理事）
西垣昭（佐藤栄作記念国連大学協賛財団理事長）
野村彰男（元国際連合広報センター所長）
波多野敬雄（元学習院長）
渡辺昭夫（東京大学名誉教授）

他

9. 主催

一般財団法人 佐藤栄作記念国連大学協賛財団

10. 後援

国際連合大学